

皆様からいただいたご寄附をもとに実施した支援事業のご紹介

① 生活困窮学生への支援事業(支援実績 4,505万円)

令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、アルバイト収入激減等で生活が困窮している学生に対し、現金給付や生協で使用できる電子マネーを支給し、学生の修学・生活支援を行ってきました。

学生からは「コロナ禍で両親の収入も減少しており、食費や教材費に充てる費用も切り詰めていましたが、支援金によって、学生生活を送ることができるようになりました」との御礼の声が数多く寄せられました。

令和5年度も物価高に伴う支援事業という形で同様の活動を継続していきます。

② プラネタリーヘルス活動支援事業(令和4年度支援実績 223万円)

本学が掲げるプラネタリーヘルスを学生に浸透させるために、下記の事業活動に対して、西遊基金を活用した支援を行いました。

○プラネタリーヘルスレポートカード

令和4年8月5～6日に群馬にて開催された「第54回日本医学教育学会大会」にて、令和3年度日本で初めて長崎大学が作成した Planetary Health Report Card (PHRC)の結果にかかる発表を行い、他大学学生との交流等に繋がった。

○プラネタリーヘルス事業創出支援

学生サークル「海援隊」による海ゴミ問題解決にかかる活動支援をはじめ、離島空き家問題解決にかかる調査支援、環境科学部学生のプラネタリーヘルスレポートカード検討にかかる調査支援を実施。

○図書設備支援

プラネタリーヘルスに資する内容の書籍の展示台を設置。



③ その他の支援(令和4年度支援実績 総額2,634万円)

学生団体活動への支援(支援実績 200万円)

サークル活動を行うにあたり必要となる備品や施設修繕費を支援しました。

学生への支援事業(支援実績 990万円)

日本人学生及び留学生に対する奨学金支給のほか、日本人学生の留学派遣支援、留学生の住宅保険料等の補助や地域との交流支援補助なども行いました。

ウクライナ学生支援事業(支援実績 1,444万円)

本学に受け入れた、ロシアのウクライナ武力侵攻により学びを中断せざるを得なかったウクライナ学生へ、渡航費や住居費、生活費を支援し、加えて課外活動として平和学習や日本文化を学ぶ機会を提供しました。

おかげをもちまして、2023年3月末現在の西遊基金への寄附実績は、**14,481件**で**415,558,795円**となりました。
ご寄附をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

① キャンパス環境整備基金を新設しました

文教キャンパスの教育学部と教養講義棟の間のスペースを、キャンパス中心の中庭として地域の憩いの場となるよう、3つのコンセプトに基づき、2023年7月の完成に向けて改修工事を進めております。長崎大学が地域に開かれた大学として発展していくために、是非皆様からのご支援をお願いいたします。

○「一体的・長期的」整備を見据える

対象空間の整備（広場づくり）をきっかけとし、キャンパス全体の整備（キャンパスづくり）へと波及させ、将来的にはキャンパスを含む地域一帯の整備（まちづくり）へと展開させる。

○「動」と「静」を切り替える

工学部棟ならびに図書館前の並木など、主軸動線上に存在する緑地を連結させ、キャンパスを横断する雄大な「並木道」を創出する。

○「時間（とき）」をデザインする

昼・夜やハレ・ケといった二面性を支える空間づくりを目指す。恒久的な利用に耐える素材を用いて、使うごとに味わいのある場を創出する。



俯瞰図



正面図



中央広場

② サークル活動支援基金による学生団体支援をお願いします

昨年7月より特定のサークル団体への寄附が可能となる基金を設立しました。寄附者は税制上の優遇措置が受けられます。主な支援実績は以下のとおりです。
女子サッカー部→光るサッカーボール
全学男子バスケットボール部→バスケットボールやクーラーボックス等
RONRock部→機材やライブの資金



西遊基金ホームページにて、西遊基金による支援実績の公開や寄附申込を受け付けております。
右記二次元バーコードからご覧ください。

